

調査研究活動実績

氏名 依光晃一郎

今年度は、大政奉還 150 年の年として、志国高知・幕末維新博による観光振興策について。また幕末の土佐人に学び、現代の我々がなすべきことについて、幅広い視点から調査しました。また、産業振興計画が進展する一方で、人手不足の壁が顕在化したことから、移住政策や教育などの政策について、高知県を担う人材確保という視点を重視しました。

本年度（29年度）の政務調査研究に関する主な活動の実績は次の通りです。

- 1 志国高知・幕末維新博について
 - ・高知県民・観光客に伝えたいことは何かという視点
 - ・民主主義を紹介する歴史展示という視点

- 2 土佐の先人について
 - ・皇室に対する土佐の先人のスタンスという視点
 - ・土佐の民主主義について盛り込んだ高知県郷土史副読本という視点
 - ・谷秦山没後 300 年に合わせた支援という視点
 - ・高知みらい科学館における谷秦山の天文研究の紹介という視点
 - ・先人に学び高知県が日本で果たすべき役割という視点

- 3 高知県産業・文化の歴史について
 - ・新嘗祭献穀者に光をあてる取り組みという視点
 - ・甫喜ヶ峰森林公園の意義という視点
 - ・全国豊かな海づくり大会の意義という視点
 - ・林業大学校という視点

- 4 人材の確保について
 - ・高知県で働くことのやりがいという視点
 - ・高知県の企業における賃金体系の整備の必要性という視点
 - ・人生 100 年時代を前提にしたメッセージという視点

5 学校教育における担い手育成について

- ・小中学校におけるキャリア教育という視点
- ・政策立案型キャリア教育という視点
- ・地域連携コーディネーターという視点
- ・総合的な探求の時間への県の協力という視点
- ・ドローンの授業への活用という視点

6 観光施設の磨き上げについて

- ・DMO 協議会などの支援による龍河洞の磨き上げという視点